

野鳥を楽しむ暮らし、はじめませんか。

都会にも野鳥はいっぱいいます。

とりわけ月島・佃・豊洲などの湾岸地域には多彩な水鳥がきてくれるので、なかなか楽しい。

平地をトコトコと歩くムクドリやツグミ、高低差の激しい飛び方をするセキレイ、ギャーギャーとうるさいヒヨドリやオナガと個性豊かな役者ぞろいです。

少しずつ野鳥の名前を覚えていくと、楽しくなっていきますよ。



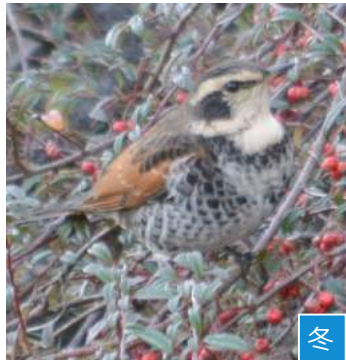
通年

▲ ムクドリ



通年

▲ ヒヨドリ



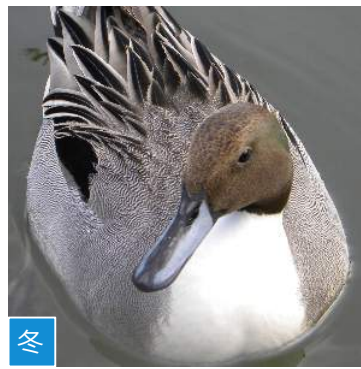
冬

▲ ツグミ



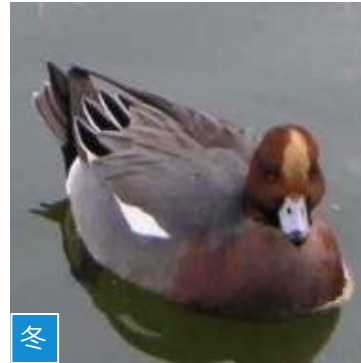
通年

▲ ハクセキレイ



冬

オナガガモ 雄です。美しい。雌は茶色で地味。寄り添っているのですぐ分かります。羽の生え方が、ファイナルファンタジーっぽいですね。大好きなカモのひとつです。



冬

ヒドリガモ これも雄。特長的なのは、頭の部分がモヒカンカットみたいに色分けされているところでしょう。数は少ないですが、ときどき目にします。



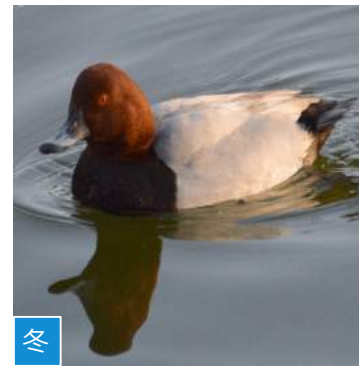
通年

カルガモ これはおなじみですねクチバシから目にかけてのこげ茶のラインが、健気な雰囲気醸しだしていますね。群にならずファミリー志向な感じのカモですね。



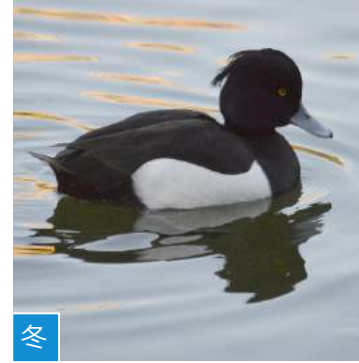
通年

オオバン クチバシとつながっている白い額板(がくばん)が特徴。まるで、お面をつけているみたい。沖縄にいる絶滅危惧種のヤンバルクイナと同じクイナ科の鳥です。



冬

ホシハジロ これも雄。茶と黒とグレーのクッキリとした色使いなので、判別しやすいです。雌は、こげ茶色で地味ですが、雄といっしょにいます。潜水が得意。



冬

キンクロハジロ カモの一種。ハトくらいの大きさ。名前は姿そのままです。キン(金色の目)クロ(黒い羽)ハジロ(羽の先が白い)。寝グセみたいなのは、冠羽です。潜水が得意。



通年

コサギ サギの種類では、この他に、アオサギ、チュウサギ、ダイサギなんかもときどききます。頭から飛び出したヒモみたいなものは、冠羽です。



通年

カワウ 首が長くて、くねくねさせたりする。ウミウとの区別は難しいです。ウミウは目の後ろの白い部分の面積がもっと大きいみたい。上野の不忍池にコロニーがあります。

ユリカモメとウミネコの見分け方

どちらもカモメなんですけど、ユリカモメは小さい。ウミネコは大きくて強い。カラスより強いかも。築地市場は、いまやウミネコの縄張りですしね。それと、ユリカモメは夏はいません（避暑）。だから夏、カモメを見たら、ウミネコと思ってください。

◎ユリカモメ

クチバシと足が赤い

秋～春先までしかいない

ハトくらいの大きさ

冬

◎ウミネコ

一年中います

ミーヤミーヤとネコみたいに鳴くけど、目がこわい

カラスくらいの大きさ

クチバシと足が黄色い

通年

この鳥は、誰でしょう？



実は、これ、ユリカモメ。4月くらいになると、こんなふうに顔が真っ黒になるんです。夏羽といいます。かわいいでしょ。なかなかこの時期までいてくれないですけどね。

制作 フジタアキラ事務所

<http://fujitakirin.web.fc2.com/>

月島・佃あたり

鳥類図鑑



中央大橋のオブジェにとまるウミネコ